津波浸水想定設定の流れ

資料2－1

1　本県で過去に発生した津波の実績津波高の整理

↓

2　再現計算による津波高の算出
・実績津波高が十分得られない場合、過去津波の再現計算（シミュレーション）を実施し、データを補完

↓

3　津波浸水想定を行う対象波源モデルの選定
・1や2で得られた津波高や国が過去に津波浸水想定を実施した際に算出した津波高のデータを「地域海岸」ごとに整理し、実際に津波浸水想定を行う対象波源モデルを選定

↓

4　津波浸水想定の設定
・3で得られた対象波源モデルで、本県が作成した詳細な地形データでシミュレーションを実施し、津波浸水想定（津波高、津波浸水域等）を設定